

まごころふいちゅう

vol.
11

2021.09 発行
府中病院 広報誌



ロボット手術センター ...P02

新型コロナウイルス感染防止の取り組み ...P10

youtube・Facebookのご案内 ...P11

表紙写真：ロボット手術センター医師



2021年4月 ロボット手術センター始動

対象疾患

前立腺がん / 腎がん / 膀胱がん / 胃がん / 直腸がん / 仙骨腫固定 / 子宮全摘

ロボット手術センター

Robotic Surgery Center

当院では、ロボット手術・腹腔鏡下手術・胸腔鏡下手術を行い、手術における傷をできる限り小さなものにし患者さんが早期に社会復帰できる医療をめざし、低侵襲手術に積極的に取り組んでまいりました。2008年頃から内視鏡下手術を取り入れ、泌尿器科手術、消化器外科手術、婦人科手術の分野で多くの実績を積み重ねております。

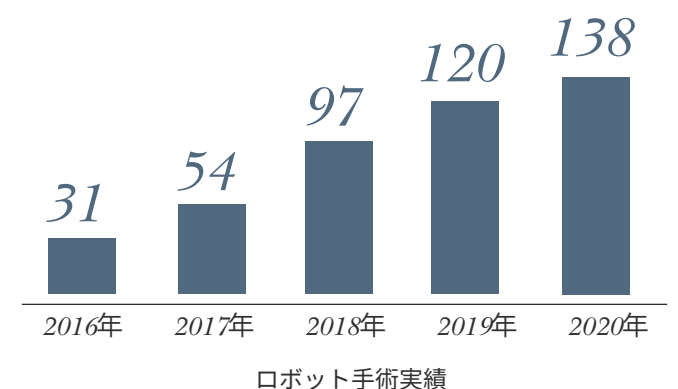
ロボット手術は、ダヴィンチという最先端の手術支援ロボットを使用しています。1～2cmの小さ

な創より内視鏡カメラとロボットアームを挿入し、高度な内視鏡手術を可能にします。術者は3Dモニター画面を見ながらあたかも術野に手を入れているようにロボットアームを操作して手術を行います。2016年から泌尿器科が開始し、消化器外科、婦人科も加わり2021年7月末の時点で496件の手術を行っています。2021年1月から「ダヴィンチ Si」に変わり、新機種「ダヴィンチ Xi」を導入しました。

このたび2021年4月、ロボット手術センターを設立し始動しました。“患者さんに優しい医療（安全で身体に負担の少ない機能温存をふまえた手術）”を提供するため、常に新たな技術を追い求めていきます。ロボット手術の詳細を知りたい方は、各部位担当外来までご連絡ください。

496例

2021年7月末現在

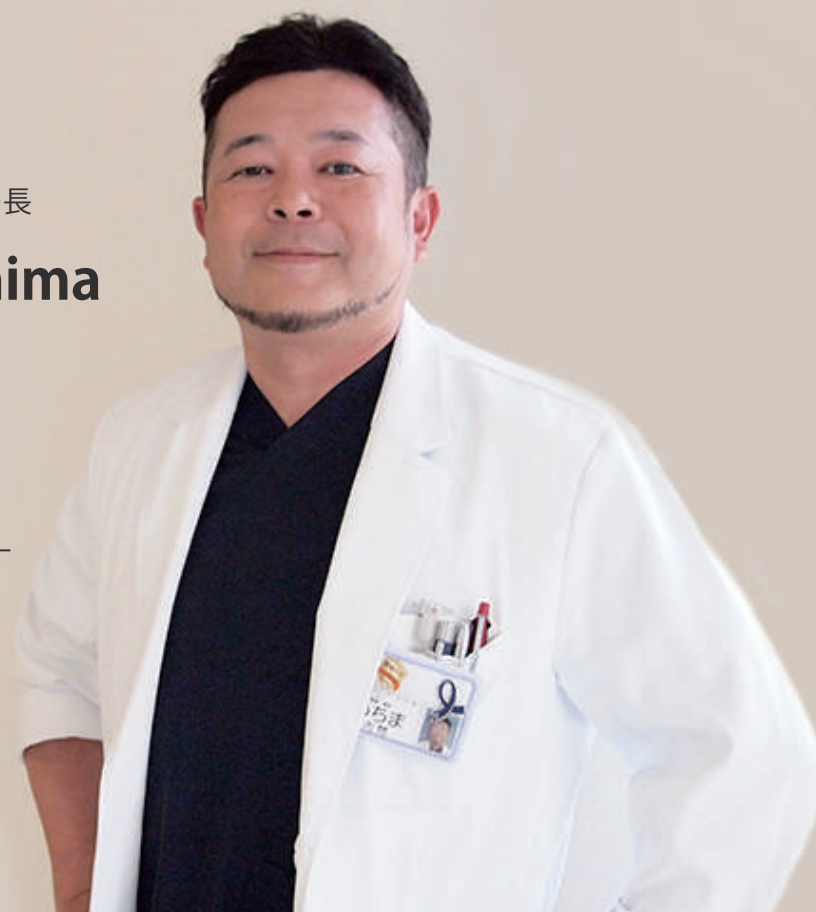


直腸がん 手術担当

副院長 / ロボット手術センター長 / 外科センター長

内間 恭武 Yasutake Uchima

- ・日本外科学会 専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会 専門医・指導医
- ・日本大腸肛門病学会 専門医・指導医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医（消化器・一般外科）
- ・日本内視鏡外科学会ロボット支援手術認定プロクター（消化器・一般外科）：直腸
- ・ロボット（da Vinci）手術認定医
- ・The Best Doctors in Japan 2020-2021
- ・医学博士



泌尿器科領域 手術担当

（前立腺がん / 腎臓がん / 膀胱がん）

ロボット手術センター副センター長 / 泌尿器科部長

播本 幸司 Kouji Harimoto

- ・日本泌尿器科学会 専門医・指導医
- ・日本泌尿器科学会／日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腹腔鏡）
- ・日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器ロボット支援手術プロクター認定医
- ・日本透析医学会 専門医・指導医
- ・ロボット（da Vinci）手術認定医
- ・医学博士



直腸がん

91 例

2018年6月～2021年7月末

2018年6月より、直腸がんの手術に対してロボット支援手術を開始しました。2021年7月までで91人を手術してきました。今まで大腸がんに対して腹腔鏡手術を1,100人以上手術してきており、その経験をもとに安全なロボット支援手術を行っています。

Da Vinci Xiという最新のロボットを使用し、最新の技術を利用して手術を行っています。ロボット手術は腹腔鏡手術より精度が高く、執刀医の疲労も軽減できています。

我々は、局所再発させない根治手術、手術合併症も0%を目指してがんの手術を行っています。しかし現実のがんの再発、手術の合併症とも数%認めています。

これら0%を目指して、近畿のロボット手術を行っている外科医たちとミーティングをしながら手術技術を向上させてきました。

泌尿器科の播本部長、婦人科の西岡副部長がロボット手術に長けています。例えば直腸がんが膀胱・前立腺などの泌尿器科領域まで浸潤している場合、直腸がんが子宮・付属器へ浸潤している場合でもロボット手術で連携・共同して手術を行っています。これらは、他院では開腹手術になることが多く、真似のできない手術ができています。

2年毎にロボット支援手術の適応が拡大されています。次回、適応拡大になった場合でも迅速に対応していきます。

前立腺がん

217 例

2016年6月～2021年7月末

泌尿器科におけるロボット支援手術は前立腺がんと腎がんと膀胱がんに対して行っています。

前立腺がんに対するロボット支援手術では、傷口が明らかに小さいことで痛みが小さく、社会復帰が早くなります。また、手術はお腹に空気を入れて行うため、開放手術と比較すると非常に少ない出血量で、輸血することは通常ありません。加えて鉗子の操作性が格段によくなり、拡大視野で細かな動きで操作するために、がんの摘除はもとより、排尿機能や性機能などの機能温存を期待できる手術です。

腎がんに対する手術治療としては、腫瘍のみを切除する腎部分切除術が、治療効果として1つの腎臓を

腎臓がん

52 例

2017年10月～2021年7月末

丸ごと摘除するのと同様であることが証明されてきました。さらにロボット支援手術で、腫瘍の確実な摘出はもちろんのこと、出血量の減少、尿瘻の防止、腎機能低下を防ぐことができます。

また、筋層浸潤膀胱がんの標準的治療は膀胱全摘除術です。開腹手術は、出血量や合併症が比較的多く、侵襲性が高い術式でした。ロボット支援手術は創が小さく術後の疼痛の軽減、出血量の低下、合併症発生率の低下、入院期間の短縮などのメリットがあります。また、膀胱摘除後の尿路変更についても当科では女性も含めストーマのない回腸利用代用膀胱への尿道吻合をロボットで行っています。

膀胱がん

16 例

2019年8月～2021年7月末

婦人科領域 手術担当

(仙骨膣固定 / 子宮全摘)

ロボット手術センター / 婦人科副部長

西岡 嘉宏 Yoshihiro Nishioka

- ・日本産科婦人科学会 専門医・指導医
- ・日本臨床細胞学会 細胞診専門医・教育研修指導医
- ・日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
- ・日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医・指導医
- ・日本産科婦人科内視鏡学会 技術認定医
- ・日本内視鏡外科学会 技術認定医
- ・日本東洋医学会 漢方専門医
- ・日本ロボット外科学会 Robo-Doc Pilot 認定 (国内 B 級)
- ・ロボット (da Vinci) 手術認定医
- ・婦人科 da Vinci 支援手術教育プログラム修了
- ・医学博士



仙骨膣固定

19 例

2020年7月～2021年7月末

子宮脱・膀胱瘤など骨盤臓器が下がってくる状態を骨盤臓器脱 (pelvic organ prolapse: POP) と総称しますが、府中病院の婦人科では2019年12月から腹腔鏡を用いたメッシュで矯正する手術を行っており、現在は腹腔鏡またはロボット支援下で対応しております。また、子宮筋腫などで子宮を摘出する必要がある場合もロボット支援下手術の適応となります。

“ロボット手術”と聞くと少し違和感があるかもしれませんが、従来の腹腔鏡手術に補助機材を加えることで、手振れがなく執刀医の動きをより正確に再現できるようになったとご理解ください。特に婦人科の手術は

胃がん 手術担当

ロボット手術センター / 外科センター副部長

平川 俊基 Toshiki Hirakawa

- ・日本外科学会専門医・指導医
- ・日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医・専門医・指導医
- ・日本内視鏡外科学会技術認定医 (消化器・一般外科領域 胃)
- ・ロボット (da Vinci) 手術認定医
- ・ロボット (da Vinci) ファーストアシスタント認定医
- ・ICD 制度協議会認定インフェクションコントロールドクター
- ・医学博士



胃がん

82 例

2017年9月～2021年7月末現在

当院での胃がんの治療は、胃カメラによる治療 (ESD) と手術もしくは抗がん剤治療に大きく分類されます。手術では、2017年9月から近隣の病院に先駆けてロボット支援下手術を行っています。

ロボット支援下胃切除は膵液漏、腹腔内膿瘍、縫合不全、通過障害・吻合部狭窄などの局所合併症のリスクを従来の腹腔鏡下胃切除よりも低くし、開腹手術への移行率を低下させ、より安全かつ正確で体への負担が少ない治療となる可能性があります。また精緻な手技によって根治性の向上 (再発率の低下) などの長期成績の向上も期待される治療であります。

早くより腹腔鏡下手術を導入しその豊富な経験と技術をもとに当院では、次世代の腹腔鏡下手術を見据えて、2017年9月から胃がんに対するロボット支援下胃切除術を導入し、現在まで80例以上を行って安全に施行しています。手術の執刀は、ロボット手術の十分な訓練をうけて認証された、腹腔鏡手術の豊富な経験と技術を持つ日本内視鏡外科学会技術認定医を中心としたチームが施行します。

ロボット支援下胃切除術においても、当院の安全でクオリティの高い低侵襲な手術を心がける姿勢は変わりません。

ダヴィンチとは？

ダヴィンチは、従来の腹腔鏡手術と同じように、いくつかの小さな切開部を作り、手術医の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かして手術を行う内視鏡手術支援ロボットです。



「サージョンコンソール」とよばれる操縦席に座り、3D 画像を見ながら手元のコントローラーを操作します。



「パシエントカート」の4本のロボットアームにその動きが伝わります。



「ビジョンカート」のモニターに手術中の画像が映し出され、手術スタッフも同じ画像が共有されます。

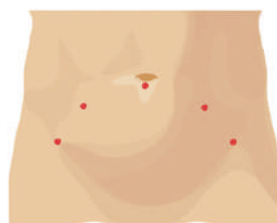
ダヴィンチの特徴

1. 体への負担が少ない

切開部分が小さくてすむために、傷が少なく、出血も抑えられます。



開腹手術における切開部



ダヴィンチ手術における切開部

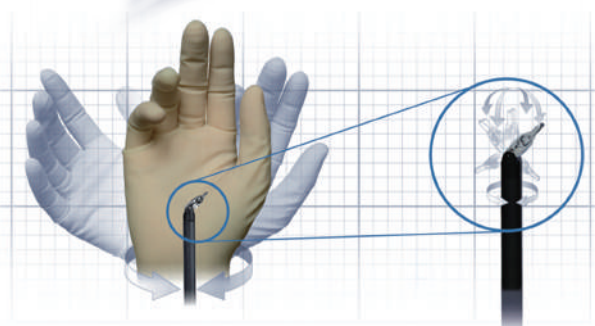
2. 鮮明な 3D（3 次元）画像

コンソールモニターには高画質で立体的な 3D ハイビジョンシステムの手術画像が映し出されます。



3. 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。
ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手より大きな可動と手ぶれ補正機能を備えています。



ダヴィンチに関するQ&A

Q1. 入院期間はどれくらいですか？

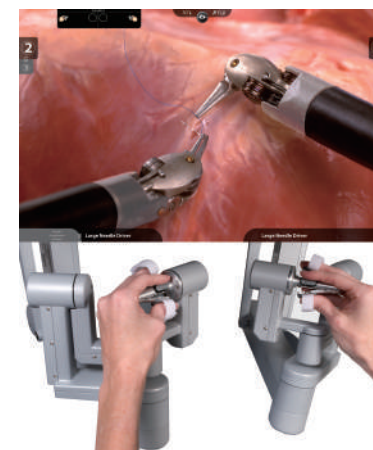
患者さんの状態によって変わりますが、約 10 日程です。

Q2. 費用はどれくらいですか？

健康保険が適用されますので、高額療養費制度を利用することで負担を少なくすることができます。
費用についての詳細は西館 1 階の AIF 総合相談センターまたは総合受付にてお問い合わせください。

Q3. ロボットが手術するのですか？

ダヴィンチ手術は、認定資格を取得し、トレーニングを積んだ医師によって行われます。医師をサポートするのがロボットの役割で、ダヴィンチ自身が勝手に動作することはありません。医師がロボットを活用し、より精緻に行う手術です。



ダヴィンチに関するお問合せ

一般の方

泌尿器科または外科または婦人科外来
月～金曜日（祝日除く）午前 9 時～午後 5 時
0725-43-1234

医療関係者の方

地域医療連携室
月～土曜日（祝日除く）午前 9 時～午後 5 時
0725-40-2147
0120-40-2147 [予約専用フリーダイヤル]
0725-40-2148

病院の取り組み

府中病院が地域の皆さんに認めていただける「最高の病院」となるための取り組みや活動をご紹介します。

新型コロナウイルス感染防止の取り組み

当院では、日本医師会発行の「みんなで安心マーク」を取得しています。「みんなで安心マーク」は、日本医師会と厚生労働省が示した感染症対策を徹底している医療機関に対して、発行されています。今後も、「安全で安心できる医療」を地域の皆さまに提供できるよう、感染防止対策に取り組んでまいります。



／当院でのワクチン接種の状況など／

当院では、医療従事者の方と和泉市住民の方を対象にワクチン接種を実施しています。2021年2月20日、和泉市や和泉市医師会と共催し、一連の流れや導線などを確認する訓練を実施し、5月10日から1日160名の方のワクチン接種を開始しました。7月5日からは接種人数を1日220名に拡大し、希望される皆さんが早くワクチン接種を受けていただけるよう行政の皆さんと一緒に取り組んでいます。

2021年8月1日現在の接種回数

医療従事者
6,568回

地域住民の方
6,660回



訓練時の問診の様子

新型コロナウイルス感染症への対応にあたり、さまざまな企業や個人の方からご寄付、ご寄贈をいただいています。皆さまからの温かいご支援、心より感謝申し上げます。

／チャンネル登録をお願いします／



府中病院の「YouTubeチャンネル」を開設しました。現在、ロボット手術センターの紹介動画を投稿しています。これから少しずつ色々な動画を投稿していきますので、ぜひご覧ください。

／フォローやいいね！をお願いします／



府中病院のさまざまな活動や医療に関する情報などを発信しています。たくさんの「いいね!」をお待ちしています♪

急性期病院としてのお願い

当院には、救急車で搬送される患者さん、緊急に入院の必要な患者さん、他の医療機関からのご紹介で手術や精密な検査を行う患者さんが多数来られます。

当院は、このような重症患者さんを迅速に受け入れ、特に緊急の治療が必要な病気やケガに対して、急性期の医療を行っています。そのためには日ごろから入院用の空きベッドを準備しなければなりません。

こうした理由から当院では、病状が落ち着きましたら早期の退院、他院への転院、施設への入所をお願いしております。北泉州地域の救急用ベッドを、次に必要な救急・重症患者さんにご提供するために、ご理解とご協力をお願い申し上げます。



AIF 総合相談センター／がん相談支援センターのご案内

AIF 総合相談センターは、患者さんやご家族の皆さんの療養生活に関するご不安やご不明なことを各専門分野のスタッフが、皆さんと一緒に考えていく窓口です。また、当院は「大阪府がん診療拠点病院」であり、がんに関する治療や療養生活全般、地域の医療機関などについて相談することができます。何でもお気軽にご相談ください。ご相談をご希望の方は、AIF 総合相談センターのスタッフまでお申し出ください。

※患者さんの相談内容の秘密は厳守いたします。

◆ 相談時間：月～土曜日（祝祭日除く） 9：00～17：00

◆ 場 所：西館 1 階 総合受付横



府中病院の 基本方針

Excellent hospital
一最高の病院を目指す一

単に良い病院ではない、さらに良い病院でもない、
自他ともに認める最高の病院を目指します！

私たちの 理念

使命 愛の医療と福祉の実現

会是 地域と職員と共に栄えるチーム
Yu・ki・to・do・ku
ゆき届いたサービス

診療時間のご案内

[受付時間]

午前受付 8：00～11：45

午後受付 各診療科により異なります

[診療時間]

午前診療 9：00～

午後診療 各診療科により異なります

[休診日]

日曜日・祝祭日・年末年始

※救急診療は行っていますのでお問い合わせください



府中病院

〒594-0076 大阪府和泉市肥子町 1 丁目 10 番 17 号

Tel.0725-43-1234 <http://seichokai.jp/fuchu/>

府中病院広報誌「まごころ ふちゅう」Vol.11 / 2021 年 9 月発行 編集・発行 / 府中病院 企画室

